

授業科目 義肢実習 III(大腿義足実習)

【担当教員名】 東江 由起夫、前田 雄、大沼 雅之、 加藤 博務		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	120
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 安全で適合した大腿義足を製作するために、カルテの記入方法、切断端の観察方法、切断端の評価方法、採寸採型技術、義足の組み立て技術、義足部品の種類や機能、ソケットの適合技術、アライメントの設定方法等の基礎的な知識や技術について、実際の大腿義足の製作を通して体得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 大腿切断者とコミュニケーションを図り、必要な情報を聞き取ることができる。 3. 製作に必要な情報、断端の評価、採寸等を実践し、カルテに記入することができる。 4. 採型及び陽性モデルの修正を行なうことができる。 5. 大腿義足の部品を適切に扱い、組み立て調整することができる。 6. 大腿義足を適切に装着し、ソケットの評価と適合、アライメントの評価と調整を実践することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス			1	説明
2	健常者歩行と大腿義足歩行の分析			6	実習
3	四辺形ソケットの製作（採寸・枠型の設計・枠型適合） DEMO モデル：健常者1名			2,3	実習
4	四辺形ソケットの製作（採寸・枠型の設計・枠型適合） 演習 モデル：学生			2,3	実習
5	四辺形ソケットの製作（採型） DEMO・演習 モデル：学生			2,3	実習
6	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入） DEMO モデル：大腿切断者1名			2,3	実習
7	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入） DEMO・演習 モデル：学生			2,3	実習
8	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入） DEMO・実践 モデル：大腿切断者12名			2,3	実習
9	陽性モデル修正（削り修正） DEMO・実践			4	実習
10	陽性モデル修正（盛り修正） DEMO・実践			4	実習
11	チェックソケットの成形・トリミング DEMO・実践			5	実習
12	チェックソケットの埋め込み・組み立て DEMO・実践			5	実習
13	組み立て（ベンチアライメント） DEMO・実践			5	実習
14	仮合わせ（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整） DEMO モデル：大腿切断者1名			2,3,5,6	実習
15	仮合わせ（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整） 実践 モデル：大腿切断者12名			2,3,5,6	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢学 第2版	日本義肢装具学会/監修、澤村誠志/編	医歯薬出版株式会社	2010・8,600円+税
		義肢製作マニュアル	日本義肢装具士協会/監修、田澤英二/著	医歯薬出版株式会社	2010・7,600円+税
参考書		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版株式会社	2009・7,000円+税
その他の資料					
【評価方法】 実習レポート80%、態度20%とする。			【履修上の留意点】 本科目は、「義肢実習3(大腿義足)」と並行して行われる。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。		